
俺とメイドと愉快的仲間達

だっくん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺とメイドと愉快的な仲間達

【Nコード】

N3495C

【作者名】

だっくん

【あらすじ】

主人公は名家の次期当主。彼女は名家の最凶メイド。それを取り巻くなんかズレてる仲間達。地上最凶メイドは今日もトラブルを振り撒きばく進する！！笑いとアクション、甘いようで苦いラブコメ？をどうぞ（笑）

第1話 俺とメイドとある朝

「……ちゃ…、ぼ……ゃん。起きて下さいませ、ぼっちゃん。」

誰かが俺を呼んでいる声がする。…だが俺の眠りは何人たりとも邪魔することはできないのだ。

「…左様でございますか。それなら…」

ゴスッ！！

テンプルに鈍い衝撃が走る。何かで殴られたらしい。意識が飛びそうになる。…が俺はとっさにその意識を繋ぎ留めた。
なんでかって？…ここで返事をしなければ確実に殺られるからだ。

「……まだ寝るつもりですか？それなら…」

「かんだしろう神田翔只今起床いたしました！！」

「おはようございます。ぼっちゃん」

目を開けると、爽やかな笑顔で微笑んでいる彼女がいた。…右手に金属バットを持っていなかったらだけど（泣）

「さし沙希、今朝は何の用だ？」

彼女の名は呉羽沙希。くれはなほ俺の専属メイド…もとい俺の悩みの元凶。今朝のような事は日常茶飯事。いつか殺されるな。確実に…。

「いや、大した用ではないんですけどね。読書様方に自己紹介をと思ひまして。」

…読書様方って何だよ。ってツツコミたいのだが…ツツコンではないけない気がしたのでスルーしよう。

まあこんなメイドを雇ってはいるが神田家は平安時代に陰陽師を生業としてきた立派な名家らしい。

なんか鬼を使役してたらしく、”鬼の一族”なんて呼ばれてるらしい…

「今日の朝食はうな重とフィレ肉のステーキでございますよ」

重っ！？カロリー高っ！？

「総カロリー2000カロリーでございます。」

……俺にとつちや目の前にいる悪鬼をどうにかする方が先決らしいな。

第1話 俺とメイドとある朝（後書き）

どうもだっくんです。

とにかく面白おかしく書いていたらいいなと思ってます。

初連載でか初小説ってことで宜しく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3495c/>

俺とメイドと愉快的な仲間達

2011年1月27日00時16分発行